

「ヘルスケア従事者等を対象とした、アントレプレナーシップ教育の効果測定にかかる調査研究：SHI におけるアントレプレナーシップ授業（アントレプレナーシップ I, II）参加者を対象に」に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2023年4月19日～2026年3月31日
研究課題	ヘルスケア従事者等を対象とした、アントレプレナーシップ教育の効果測定にかかる調査研究：SHI におけるアントレプレナーシップ授業（アントレプレナーシップ I, II）参加者を対象に
研究の概要	<p>目的及び意義：イノベーション・エコシステム形成には人材育成が不可欠である。そのため大学等の高等教育機関でのアントレプレナーシップ教育への期待が高まっている。本研究では、SHI でのアントレプレナーシップ教育の提供を通じた参加人材の起業意思とその変容を計測し、教育効果と、起業意思の向上に影響を与える要素の解明に取り組む。</p> <p>本研究は、アントレプレナーシップ教育プログラムの参加者の学習と成長を測定するため、個人のフレームワークを提案する。各参加者の起業意思の経時的な成長を描くために縦断的な調査を、参加者へのアンケートによるデータ収集で実施する。</p> <p>成長モデリング(Bliese & Polyhart, 2002)を適用し、参加者個人の起業意思(Liñán, 2004)が時間の経過とともに増加するかどうかを計測する。具体的には、プログラムに参加した学生が、プログラム終了時に起業意思（個人的態度、知覚行動制御、起業家的意図）の増加を示しているか否かを検証する。参加者がアントレプレナーシップ教育プログラムに触れる前、中、後のデータを収集し、トレーニングや開発が起業意思の成長に及ぼす影響を明らかにする。さらに、個人的態度、行動統制感、起業意思全体の成長軌道に影響を与え得る重要な個人的心理特性（たとえば想像力:Liang & Chia, 2014, 視点取得（相手の立場に立って物事を考える）):Davis, 1983) の評価を取り入れる。</p> <p>対象：SHI 授業 Entrepreneurship I, II 参加者</p> <p>方法：各参加者の起業意思の経時的な成長を測定するために、ワークショップ前、中、後の計3回、アンケート調査を実施する。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】</p> <p>島岡未来子 神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授</p> <p>【研究分担者】</p> <p>松永早苗 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 准教授</p> <p>稲垣大輔 神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター 契約職員</p> <p>伊藤紗也佳 神奈川県立保健福祉大学 イノベーション政策研究センター 研究員</p> <p>鬼頭朋見 Senior Scientist, VTT, Finland</p> <p>TSAI, CHOU-YU Binghamton University, State University of New York, Assistant Professor of Management, School of Management</p>

	Hiroki Sayama Binghamton University, State University of New York, Professor of Management, School of Management JIN Fuhe, Binghamton University, State University of New York, Ph.D. Candidate CHAO Nick, Binghamton University, State University of New York, Ph.D. Candidate
個人情報の 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り扱いに配慮を要する資料：氏名、年齢、性別 ・ 共同研究者とは、共同利用する個人情報の項目（氏名、年齢、性別）情報は、全てパスワードをかけてBOX上で受け渡しを行う。 ・ 各研究者のローカル端末に保管する必要がある場合は、研究代表者はSHIの施錠付き研究室に設置しているノートパソコンにデータをパスワードをかけて保管する。共同研究者は各人が保持するPC上でパスワードをかけて保管する。情報漏洩対策として、すべてのデータにはパスワードを設定することで対策を行う。また、ノートパソコンの管理体制として、該当者の保持するノートパソコンは、パスワードにて施錠し、他人が閲覧できないよう対策を行う。 ・ 研究終了後5年後には、電子データをすべて完全に消去する。
その他	

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 教授 島岡未来子
TEL：044-589-8100（代表）